

白石委員(白石さとみ)
令和8年9月25日
高齢者施策推進担当

VR 体験付き認知症フレンドリー講座の実施結果について

1 実施概要

日 時:令和8年7月25日(土)
場 所:赤坂子ども中高生プラザ青山館
参加者数:24名(アンケート回答数 23名 96%)

日 時:令和8年7月28日(火)
場 所:港区立男女平等参画センターリーブラ学習室
参加者数:23名(アンケート回答数 23名 100%)

参加者内訳(2日間合計 47名)

	中学 2年生	中学 1年生	小学 6年生	小学 5年生	小学 4年生	小学 3年生	小学 2年生	小学 1年生	幼児	保護者	合計
人数	1名	1名	4名	1名	10名	3名	9名	1名	1名	16名	47名
割合	2%	2%	9%	2%	21%	6%	19%	2%	2%	35%	100%

2 アンケート結果

(1)保護者(回答:7名)

ア 選択式設問への回答
別紙のとおり

イ 自由記述欄

- ・もっと VR を見たいと思った。
- ・VR を体験して、足元のふらつき感がとてもよく分かった。
- ・アニメーションがリアルで、認知症のある人の気持ちを知ることができてよかった。
- ・短い時間の中で、子どもたちの集中力が続くよう工夫されており、勉強になった。
- ・子ども目線で構成されており、ありがたかった。
- ・症状が「0 か 100 か」ではないことを初めて知った。
- ・認知症について知っていたつもりだったが、知らなかった症状もあり、もっと知りたいと思った。
- ・当事者の方も、手助けがあれば前向きに生活できることが分かった。
- ・認知症について、もう少し深く知りたいと思った。子どもと一緒に学ぶことができてよかった。

- ・身近に認知症のある人がいるため、今後の接し方の参考になった。
- ・大人としても、認知症のある人と決めつけず、いつもどおり接することが大事だということが分かった。
- ・家族に症状が出たら、今日の学びを活かしたいと思った(動揺しそうではあるが)。
- ・子どもと一緒に考えるよいきっかけになった。
- ・自分の母親が認知症で入院した際、子どもたちと一緒によく面会に行っていた。その時、母が「ねずみが歩いているね。そこにいっぱいいる」と子どもたちに話したことがあった。本日の講義で幻視の話が出た時、子どもがその時の祖母の話を思い出していた。子どもにとって、当時の祖母の体験を理解することにつながったのではないかと思い、とてもよい機会になった。自分自身も講座を聞きながら当時のことを思い出し、これからに活かしたいと思った。
- ・身近に認知症のある人はいないが、認知症について考える機会になった。今後、家族が認知症になった時にどう接すればよいかを考えることができてよかった。また、高齢者や身寄りのない方が増えていく中で、今後の社会について考えることも増えていくのだろうと感じた。
- ・認知症が進行すると、周囲の人が大変になると思った。

(2)子ども

ア 選択式設問への回答

別紙のとおり

イ 自由記述欄

- ・VR が楽しかった。
- ・VR の階段の場面が印象に残った。
- ・オリジナルアニメでよく分かった。
- ・VR を体験して、認知症の方は大変だなと思った。
- ・VR 体験を通じて、認知症のある人にはどのように見えているのかを知ることができた。
- ・VR で認知症のことをよく知ることができ、認知症について考えるようになった。
- ・認知症は若い人でもなることがあると分かった。
- ・認知症は誰にでも起こり得ることで、特別な病気ではないということが分かった。
- ・いろいろな認知症があること。
- ・認知症になるとつらいと思った。
- ・講師の先生がやさしく説明してくれて、認知症のことがよく分かった。
- ・30 代の認知症ご本人のお話が印象に残った。
- ・認知症の人は助けてあげたい。
- ・認知症の人にやさしくし過ぎるのではなく、自立したい人もいるので、手伝い過ぎるのもよくないのかなと思った。
- ・今までは道などを教えていなかったけれど、今後は教えてあげたい。

VR 体験付き認知症フレンドリー講座 アンケート集計

別紙

2026 年 7 月 25 日・7 月 28 日実施分 合算

保護者アンケート(16 名)

1 本日の講座全体の満足度を教えてください。

	大変満足	満足	不満	合計
人数	9 名	7 名	0 名	16 名
割合	56%	44%	0%	100%

2 認知症に対する理解は深まりましたか。

	とても深まった	深まった	あまり深まらなかった	深まらなかった	合計
人数	7 名	8 名	1 名	0 名	16 名
割合	44%	50%	6%	0%	100%

3 VR 体験は認知症の方の視点や困りごとを理解するために役立ちましたか。

	役立った	役立たなかった	どちらともいえない	その他(気持ち悪くなった)	合計
人数	14 名	0 名	1 名	1 名	16 名
割合	88%	0%	6%	6%	100%

4 講座参加前と比べて、認知症のある人への印象や考え方に変化はありましたか。

	大きく変わった	少し変わった	変わらない	合計
人数	7 名	9 名	0 名	16 名
割合	44%	56%	0%	100%

5 今後、地域で認知症の人やその家族を見かけた際に、見守りや声かけをしてみたいと思いますか。

	思う	思わない	どちらともいえない	合計
人数	16 名	0 名	0 名	16 名
割合	100%	0%	0%	100%

6 お子様と認知症について家庭で話し合いたいと思いますか。

	思う	思わない	どちらともいえない	合計
人数	16 名	0 名	0 名	16 名
割合	100%	0%	0%	100%

7 この講座を他の人にもすすめたいと思いますか。

	思う	思わない	どちらともいえない	合計
人数	16 名	0 名	0 名	16 名
割合	100%	0%	0%	100%

子どもアンケート(30 名)

1 今日の講座はどうでしたか(自由研究等に生かせそうですか)。

	とてもよかった	よかった	ふつう	あまりよくなかった	合計
人数	16 名	11 名	3 名	0 名	30 名
割合	53%	37%	10%	0%	100%

2 認知症についてわかりましたか。

	よくわかった	少しわかった	あまりわからなかった	合計
人数	25 名	5 名	0 名	30 名
割合	83%	17%	0%	100%

3 VR 体験はどうでしたか。

	とてもわかりやすかった	わかりやすかった	ふつう	わかりにくかった	合計
人数	22 名	7 名	1 名	0 名	30 名
割合	73%	24%	3%	0%	100%

4 認知症のある人の気持ちについて考えることができましたか。

	とてもできた	できた	あまりできなかった	合計
人数	14 名	13 名	3 名	30 名
割合	47%	43%	10%	100%

5 認知症のある人と会ったとき、やさしく接したいと思いましたか。

	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	合計
人数	18 名	11 名	1 名	30 名
割合	60%	37%	3%	100%

佐藤家 家系図



佐藤家

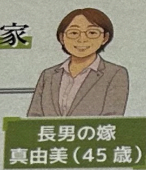


まさかの介護シミュレーション！

～ あなたの家庭に突如訪れるその日 ～



佐藤家



長男
雅之 (47 歳)

長男の嫁
真由美 (45 歳)



健人 (高3)



麻美 (高1)



鈴木家



長女
優子 (45 歳)



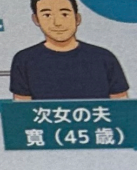
正雄 (中3)



田中家



次女
令 (42 歳)



次女の夫
寛 (45 歳)



花子の状態

- 室内を移動するときは歩行器を使う。
- 衣服の着脱はできるが、食事を作ることはできない。
- トイレには時間をかければ行くことができるが、間に合わないこともある。
- 入浴や洗身はひとりではできず、誰かの力を借りなければならない。
- 朝は認知機能がしっかりしているので、薬は午前中に服用するようにしている。



花子の希望

- 週に2回リハビリして、できるだけ今の状態を維持したい。
- 週に1回くらいは暖かい食事が食べたい。
- 話し相手でもあるので、猫とは離れたくない。
- できれば毎日、お風呂に入りたい。
- 逆に、毎日デイサービスに行くのは気ぜわしくて嫌。
- 猫のエサやりや花の水やりもお願いしたい。





支給限度額内のケアプランイメージ



まさかの介護シミュレーション!

～ あなたの家庭に突如訪れるその日 ～

	月	火	水	木	金	土	日
6:00							
8:00	訪問介護		訪問介護	訪問介護			
10:00							
12:00		デイサービス			デイサービス		
14:00			訪問リハ				
16:00							
18:00							
20:00							
22:00							
24:00							

※ 自己負担額: ¥19,705 (1割負担) ただし、リハビリパンツ等は薬局等で別購入

6

公的介護保険制度について

7